



小中学生対象の作文コンテストで350通もの応募 新聞で学ぼう！作文コンテスト

2017年のNIE全国大会名古屋大会の開催に合わせ、様々なサービスや新商品など新聞を通して発信し、学んでいただくことを目的にスタートした「新聞で学ぼう！」シリーズ。今回実施した「新聞で学ぼう！作文コンテスト」では、「世の中に役立つ自動販売機」をテーマに、小中学生対象で作文を募集。一般応募の他、学校単位での参加もあり、350もの応募をいただいた。特に学校では、授業の一環として作文コンテストに参加、NIE本来の目的も果たすことができ、子供達が自動販売機を通じて、様々な社会貢献を考えるきっかけとなる特集となった。

(名古屋本社 広告二部 安藤賢一)

新聞で学ぼう!

作文コンテスト 結果発表



世の中に役立つ新しい自動販売機をつくらせたら、どのような自動販売機をつくりませんか?

地域を繋ぐ自動販売機

静岡県磐田市 中学3年生 鈴木 瑠華さん

「世界一の高齢社会・日本」。人々が長生きできるということは、平和で豊かな社会を意味する。しかし、進む高齢化と人口減少は多くの問題を抱えている。そこで私が考えたのは、人工知能(AI)を搭載した会話のできる自動販売機だ。繋がりが薄れつつある今の日本では、会話をしてくれる相手がいっぱあるのも、寂しい。家族と一緒に住んでいても、離れ返される会話は敬遠されやすく、孤独を生んでしまう。そんな時、会話をしてくれる自動販売機があったらどんなに嬉しいだろう。いつでもそこに行けば話し相手がいるというのは、安心感を生む。会話をすることは認知症予防にもなる。そんな楽しい自動販売機があれば、子ども達も集まって、自然と地域の憩いの場になるだろう。自動販売機が繋がるコミュニティが元気の日本をつくるのだ。

たくさんのご応募ありがとうございました!

現在、清涼飲料自動販売機は全国で約213万台。(2016年12月末時点)普及しており、飲料販売だけでなく、災害対策や緊急時に対応できる住所表示ステッカーの貼付など、様々な社会貢献を担っています。そのような自動販売機を題材に、中日新聞社では「新聞で学ぼう 作文コンテスト」を実施しました。作文のテーマである「世の中に役立つ自動販売機」について寄せられた様々なアイデアの中から、地域の繋がりを生み出す自動販売機をテーマにした最優秀賞作品を紹介します。各受賞作品全文はWEBページでご覧いただけますので、子どもたちのアイデアを通して私たちにできる社会貢献と一緒に考えていきましょう。主催/中日新聞広告局 共催/コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社

- 優秀賞: 愛知県尾張旭市 小学5年生 小松 愛果さん
佳作: 愛知県名古屋市 小学5年生 水野 安珠さん
あつらいいな、健康見守る自動販売機: 愛知県名古屋市 小学5年生 飯田美乃里さん
水再生システムの備った自動販売機: 三重県四日市市 中学2年生 飯田美乃里さん
おぼあちゃんのための自動販売機: 愛知県岡崎市 小学4年生 織田 華子さん

- ココ・コーラ賞: 愛知県知多郡 中学2年生 田中 千福さん
まるい自動販売機: 愛知県名古屋市 小学6年生 坂田 りおんさん
呼吸自動販売機: 岐阜県瑞浪市 小学3年生 樋田 彩花さん
新しいメディアとしての自動販売機: 静岡県磐田市 小学6年生 鈴木 紅香さん
おいしい魔法の自動販売機: 愛知県名古屋市 小学4年生 丹羽 結那さん
緑を作り出す自動販売機

http://www.chunichi.co.jp/k/nie/sakubun/award.html

Coca-Cola Bottlers Japan Inc. advertisement for vending machines with images of various models.

Advertisement for the 'Eco-friendly and Active during Disasters' vending machine contest, featuring Coca-Cola vending machines.

Large graphic with text: '新聞広告でのコンテスト告知で応募殺到! 授業の一環として学校単位での参加もありました。'

▲2017年10月27日中日新聞朝刊全5段カラー「募集告知」

■特設ページから受賞作品全文がご覧いただけます

http://www.chunichi.co.jp/k/nie/sakubun/award.html



右記2次元コードからもWEBページにアクセスできます→